

幼児教育と小学校教育の円滑な接続の推進

- ① 幼児教育施設間， 幼児教育施設と小学校間における相互理解の促進
- ② 架け橋期におけるカリキュラムの開発・実施



始良市立建昌幼稚園

教諭 岩松 麻美

始良市立建昌幼稚園・創立71年

【めざす園児像】

- 1 いきいき
「いっしょに笑う，遊ぶ」
- 2 わくわく
「いっしょに楽しむ，学ぶ」
- 3 のびのび
「いっしょに歌う，体を動かす」

年少(りす)	10
年中(こあら)	11
年長(きりん)	20
計	41



○保幼小が協働で育てる「始良市の子ども」

D 自分のことは自分でできる子ども 給食準備のお手伝いをするようになる。	E 基本的な生活習慣を身に付けた子ども 食事のマナーや箸の正しい使い方を知り、みんなで食事することのよさを覚えるようになる。	F 進んで食生活を送ることができる子ども 食べ物の味・色・匂いの楽しさ、好き嫌いせずに食べることのよさを覚えるようになる。	A 自ら進んで取り組む子ども 自ら遊びを考え、遊ぼうことを通して、主体的に考えて活動することのよさを感じるようになる。	B 表現することを楽しむ子ども 遊具に飾り付けたり遊ぼうことを通して、体を動かすことのよさを感じるようになる。	C 動くことが得意な子ども よい姿勢（目と鼻と口）で動くことのよさを感じるようになる。	G ルールを守ることができる子ども ルールがきまりのある遊びが、心もよく楽しく活動につながるようになっていくことに気付くようになる。	H 思いやりのある子ども 先生や他児の人への態度や言葉遣いなどについて考え、ふさわしい態度や言葉遣いで応じるようになる。	I 人のふれあいを大切にできる子ども
当番や活動の準備、片づけなど、自分ですべてできる経験を持つ。そのよさを覚えるようになる。	食べ物の味・色・匂いの楽しさ、好き嫌いせずに食べることのよさを覚えるようになる。	手先を使ったスリッパを編みたりなど、活動を通していろいろな活動に取り組むことができるようになる。	生物の飼育や観察など、五感を使って感じとるようになる。	創作活動を通して表現することのよさを感じるようになる。	歌や踊りに生じて活動する経験を持つようになる。	先生や他児の人への態度や言葉遣いなどについて考え、ふさわしい態度や言葉遣いで応じるようになる。	先生や他児の人への態度や言葉遣いなどについて考え、ふさわしい態度や言葉遣いで応じるようになる。	先生や他児の人への態度や言葉遣いなどについて考え、ふさわしい態度や言葉遣いで応じるようになる。

始良市立建昌幼稚園アプローチカリキュラム

小学校



学年・時期	○主な活動や保育	○ねらい ☆留意点	職員連携	保護者連携
年少	◎衣食の自立をする。 ◎友達に興味をもつ。 ◎小学校を知る。 (風あげ・散歩・交流)	○入園した喜びを十分に味わいながら、自分のことを自分でする。 ☆保護者と協力しながら、自立ができるようにする。	・幼保小連携研修会	・教育相談 ・週報 ・月報 ・学級懇談会
年中	◎衣食の自立をする。 ◎友達と誘いあって遊ぶ。 ◎小学校に興味をもつ。 (風あげ・散歩・交流)	○進級した喜びを十分に味わいながら、友達と協力しながら行う。 ☆保護者と協力しながら、年長に向けて過ごしていく。	・幼保小連携研修会	・教育相談 ・週報 ・月報 ・学級懇談会
I 期 (4月・5月)	◎入園式 ◎誕生会(～3月) ◎集まり会(～3月)	○年長になった喜びをもち、周囲の環境に興味・関心を高める。 ☆和式トイレについても知らせ、戸惑いのないようにする。	・幼保小連携研修会 ・入学式出席 ・地区園長会	・教育相談 ・就学相談 ・週報 ・月報
II 期 (6月・7月)	◎避難訓練(小学校へ)	○友達の思いや行動に興味をもつ。 ○自分なりの目的をもって、工夫する楽しさを味わう。	・地区公立幼稚園こども園協会総会	・週報 ・月報 ・学級懇談会
III 期 (9月・10月)	◎運動会(小学校) ◎運動会(幼稚園)	○友達と考えや思いを出し合って楽しむ。 ○目的をもって、やり遂げる喜びを味わう。	・幼保小連携研修会 ・地区園長会 ・市幼稚園教諭等研修会	・週報 ・月報
IV 期 (11月・12月)	◎発表会	○友達と協力したり工夫したりして遊びを進めていく。 ○いろんなことに興味をもってやり遂げる。	・九州公立幼稚園こども園教育研究大会	・週報 ・月報 ・学級懇談会
年長 V 期 (1月～3月)	◎小学校との交流活動 ◎授業参観(小学校へ) ◎風揚げ(小学校へ) ◎卒園式	○友達と考えを出し合いながら活動する。 ○喜びと期待をもって園生活を楽しむ。	・小学校との連絡会 ・幼保小連携研修会 ・卒業式出席 ・地区園長会	・週報 ・月報 ・学級懇談会

接続期カリキュラムA～C



A 自ら活動に取り組む子ども



B 表現することを楽しむ子ども

A 自ら活動に取り組む子ども

自ら遊びを考えて活動することを通して、主体的に考えて活動することのよさを感じるようになる。

遊具に触れたり遊んだりすることを通して、体を動かすことのよさを感じるようになる。

生物の飼育や栽培など、五感を使って感じ取ることができる活動をたくさん積み重ねている。

はさみの使い方、パスや色鉛筆の持ち方などを身に付けている。

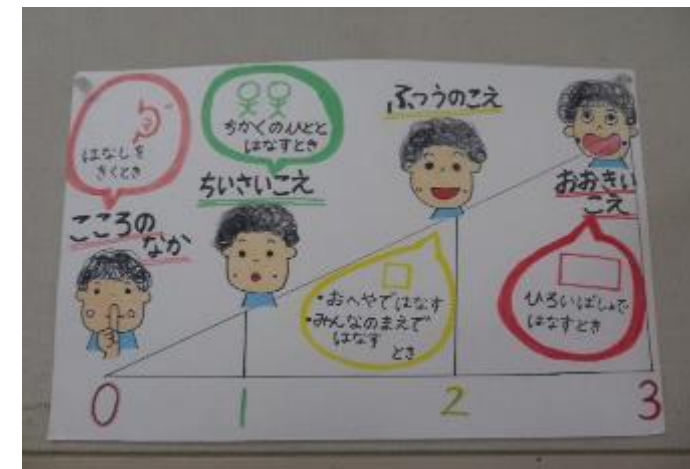
みんなの前で発表をしたり聞いたりする経験を通して、発表することのよさを感じるようになる。

B 表現することを楽しむ子ども

創作活動を通して表現することのよさを感じるようになる。

読み聞かせや紙芝居などを通して、本を読むことや文字への興味・関心が高まる。

C 聴くことのできる子ども



C 聴くことのできる子ども

接続期カリキュラムD～F



D 自分のことは自分でできる子ども



F 健康で安全に生活できる子ども

D 自分のことは自分でできる子ども

給食準備のお手伝いをするようになる。

当番や活動の準備、着替え、整理整頓など最後まで自分でする経験を積み重ね、そのよさを感じるようになる。

着衣の乱れなどに自ら気づき、自分で整えることができるようになる。

一日の活動の大まかな時間の見通しをもったり、活動の区切りに時計（時刻）を意識したりすることで、時間を意識した生活ができるようになる。

決まった時間に就寝し、起床することができるようになる。

E 基本的な生活習慣を身に付けた子ども

食事のマナーや箸の正しい使い方を知り、みんなで食事することのよさを感じるようになる。

食べ物への興味・関心が芽生え、好き嫌いをせずに食べることのよさを感じるようになる。

手を洗ったりスリッパを揃えたりなどを意識してトイレを使うようになる。

午睡がなくても、午後の活動に取り組む気力や体力が育まれつつある。

F 健康で安全に生活できる子ども

積極的に外遊びや運動遊びに取り組む。



E 基本的な生活習慣を身に付けた子ども

接続期カリキュラム G～I



G ルールを守ることのできる子ども



G ルールを守ることのできる子ども

ルールやきまりのある遊びが、心地よく楽しい活動につながっていくことに気付くようになる。

日常的なルールやマナーを大切にすることの必要性が分かるようになる。

集団生活や異年齢交流、地域の人々との交流などの経験を積み重ねて、人と触れ合ったり協力し合ったりすることのよさを感じるようになる。

H 思いやりのある子ども

先生や地域の人への態度や言葉遣いなどについて考え、ふさわしい態度や言葉遣いで応じるようになる。

考えや気持ちを自分なりの言葉で伝える経験を積み重ね、相手に考えや気持ちが伝わるよさを感じるようになる。

友達のことを思いやり、優しくすることのできたよさを感じるようになる。

あいさつや「ありがとう」「ごめんなさい」が言えるようになる。

I 人とのふれあいを大切にできる子ども



H 思いやりのある子ども



I 人とのふれあいを大切にできる子ども

始良市接続期カリキュラム・小学校の取組例

生活上の自立

決まった時刻に就寝・起床するなどして、自分で生活リズムを整えることができる。

時計を意識して行動する経験を積み重ね、時間割などの設定された時間に合わせて小学校生活を送ることができるようになる。

日直や当番の仕事など自分でできることに取り組む経験を通して、自主的に活動しようとする意欲が高まる。

カバン棚、机上、引き出し、トイレのスリッパ並べなど、身の回りの整理整頓をすることの大切さやよさを感じるようになる。

食事の大切さについて考える活動を通して、好き嫌いをせずに食べることができるようになる。

TPOに応じた服装を意識し、自分で着衣の乱れなどを整えることができる。

安全に気を付けて過ごしたり、友だちと一緒に楽しんで運動をしたりするようになる。

D 自分のことは自分でできる子ども

E 基本的な生活習慣を身に付けた子ども

F 健康で安全に生活できる子ども

学びの自立

基本的な発表の仕方を意識して自分なりの考えや気持ちを伝えたり、また、分からないことや難しいことは聞きながら粘り強く取り組んだりするようになる。

読み聞かせ活動を通して、音読や読書に対する興味・関心が高まっている。

正しい鉛筆の持ち方で文字等を書くことができるようになる。

授業開始前に、次の授業で使う物を準備するなど、基本的な学習態度を身に付けている。

正しい姿勢（目と耳と心）で人の話を聞くことや指示を最後まで聞いて活動することの大切さやよさを感じるようになる。

A 学ぶ意欲をもった子ども

B 表現できる子ども

C 聴くことのできる子ども

精神的な自立

集団生活や異年齢交流、地域の人々との交流などを通して、他と協力したり、意見を交わす中で新しい考えを生み出しながら工夫して取り組んだりするようになる。

道徳科や学級活動を中心に、相手の気持ちを考えたり、自分の考え方を振り返ったりなどしながら、気持ちや行動を自律的に調整し、学校生活を楽しくしていこうとする。

自分のために何かをしてくれている人の存在に気付いたり、感謝する気持ちを言葉や行動で表現したりするようになる。

自分から進んであいさつをしたり「ありがとう」「ごめんなさい」が言えたりするようになる。

日常生活や学校生活のルールやマナーについて考えることを通して、みんなの安全・安心な生活につながるなど、ルールやマナーの大切さやよさへの理解が深まっている。

G ルールを守ることのできる子ども

H 思いやりのある子ども

I 人とのふれあいを大切にできる子ども

「自立」に向けての3つ柱

生活上の自立

環境の変化などに適応する力や
身辺自立・生活習慣に関する力
基本的な生活習慣，整理整頓，
食事など



学びの自立

学習の基礎となる興味や関心，
意欲，能力などを発揮する力
興味・関心，意欲・態度，創
意・工夫など



精神的な自立

様々な人と関わりながら自己を
発揮し，共に生活を作り出す力
規範意識，友達や担任との関係
づくりなど



幼保小ブロック別会議

始良市内5つのブロック

- 1 建昌幼稚園ブロック
- 2 加治木幼稚園ブロック
- 3 錦江幼稚園ブロック
- 4 帖佐幼稚園ブロック
- 5 蒲生てんてんこども園ブロック

★年3回の幼保小連携研修会



建昌幼稚園ブロックの取組

★共通実践事項

生活上の自立

- 就寝起床の時刻を守り，生活のリズムを整える。
「早寝早起き朝ごはん」のPTAとの共通実践



学びの自立

- 正しい姿勢で人の話を最後まで聞くことができる。

精神的な自立

- 自分の気持ちを自分の言葉で伝えることができる。



1 学びの自立

- (1) 主体的活動の日の設定
- (2) 食育活動(一人一鉢, 野菜栽培, 五感体験, 調理活動)
- (3) 月刊絵本
- (4) 設定保育による製作活動
- (5) 運動能力調査(6月・12月), 運動カードの活用
- (6) 発表機会の設定(お誕生日会, 給食献立放送)
- (7) 図書館訪問(月1回)



2 生活上の自立

- (1) 当番活動
- (2) もぐもぐタイム，食事のマナーや約束，給食当番活動
- (3) 食材五感体験（肉，野菜，魚，卵等）
- (4) カレー作り
- (5) 食育活動（野菜の栽培・稲作・一人一鉢）
- (6) 排泄
- (7) 時間を意識する活動



3 精神的な自立

- (1) 挨拶(園門からの自立登園)
- (2) 縦割り保育
- (3) ルールのある活動
- (4) お手伝い
- (5) 発表や話し合いの機会の設定
(各行事・帰りの会等)



人と人をつなぐ幼保小交流

- (1) 避難訓練(小学校)
- (2) 凧あげ, 学校見学(小学校)
- (3) 授業参観(県民週間)
- (4) フレッシュ研修(新任教諭)
- (5) 公立幼稚園との交流
- (6) 地域の保育園との交流
- (7) 小学3年生との交流



学ぶ姿勢を身に付ける縦割り保育

- (1) お店屋さんごっこ (年 1 回)
- (2) 合同給食 (年 3 回)
- (3) カレーの日 (年 2 回)
- (4) 主体的な活動の日 (毎週金曜日原則)
- (5) 共同制作 (卒園時に縦割り班で製作)



栄養教諭による直接指導

- (1) 小・中学校と同じ給食
- (2) 給食指導(栄養教諭)
- (3) 毎日の給食放送(年長児)
- (4) 食育（五感体験）
- (5) パワフルフェアリーズ
(職員による食育劇)



療育施設との連携による情報の共有化と共通実践 (複合的な課題を抱えている家庭支援)

- (1) 園と療育施設との相互訪問
(関係性づくりと丁寧な支援の継続)
 - (2) モニタリングへの参加
 - (3) 就学へ向けての話し合い
- ア 保育所等訪問
イ みかんシート, りんごシートの活用
ウ 関係機関等の役割分担の明確化
(支援の方向性の共通認識・共通実践)

【始良市】子どもへの見(mi)方、関(ka)わり方を広げるシート
＝みかんシート



・園には、「集団に入ることができない」「友達を聴んだり叩いたりする」など、「気になるなあ」と感じる子どももいます。先生が「一緒に遊ぼう」と誘いかけでも、「叩いたらだめだよ」と繰り返し注意をしても、様子がほとんど変わりません。

・そのような子どもは、自分でうまくできなくて悩んでいたり、困っていたりしているかもしれません。

・「みかんシート」は、園の先生方が、これまでの関わり方ではうまくいかず、気になる行動が繰り返し見られる子どもに対して、園の中でどのように関わったよいか、そのヒントを見つけ、子どもへの見方や関わり方を広げられるようにするために作成しました。

・園の先生方が短時間（10分程度）で記入することができます。

・子どもの気になる行動に対して、「0：見られない」「1：少し気になっている」「2：気になっている」「3：とても気になっている」の4つの中から選んで回答してもらいます。

・それぞれの項目で、「2：気になっている」「3：とても気になっている」と回答した場合、子どもは、その場面で、とても困っているかもしれません。巻末の「園ですぐにできる関わり方のヒント」を参考に、関わり方を見直したり、新しい関わり方を試したりしてみてください。

・レーダーチャートに示された割合が高い場合は、その領域において、子どもを丁寧に見取り、関わり方を工夫する必要があります。園の先生方で話し合い、園ですぐに取り組んでみましょう。園での取組は、「個別の指導計画」にまとめておく、情報の共有や引き継ぎに効果的です。園でやってみただけどうまいかないときは、必要に応じて、関係機関と連携をとみましょう。

※このシートは、発達障害を診断するためのものではありません。



就学相談会

- 1 夏と秋の年2回開催
- 2 就学先について、発達・障害の専門家に相談することのできる相談会
(保護者と子どもで参加)

【対象】

- ・ 特別支援学校への入学を考えている方
- ・ 特別支援学級に在籍している小学6年生
- ・ 特別支援学級に入級を考えている方
- ・ 通級指導教室の利用を考えている方

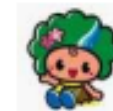
未就学児の保護者向け

「お子さんが豊かに
学べる場」を考えるための

就学ガイドブック



令和6年4月改訂



始良市教育委員会

具体策を確実に教育課程に反映させる工夫

- 1 担当者同士の交流・見える化
(人とのつながりの強さを活かした場面を共有した研修)
- 2 ブロック別研修会の成果と課題の共有
- 3 公立幼稚園としての役割→連携の拡充・促進
(研究保育提供, 他施設との交流のリード役, 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり, 教育論文への応募による指導力向上→保育の質を一定に保つ)

楽しい， 楽しい建昌幼稚園！

